

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【チーム・コミュニケーション・スキーム (Team Communication Scheme)】

英 Team Communication Scheme

和 チーム・コミュニケーション・スキーム

【用語解説】

コミュニケーション (Communication) という語は、ラテン語のコムニカチオ (communicatio) に由来し、「分かち合うこと」を意味するもので、社会生活を営む人間の間で行われる知覚・感情・思考の伝達である。また、スキーム (Scheme) は、「計画」や「案」といった意味を持つ英単語の「scheme」からきている言葉で、計画 (Plan) と枠組み (Framework) という2つのニュアンスが合わさったビジネス用語である。

チーム・コミュニケーション・スキームとは、チーム内で一般認識される事象・根拠・行動の3つの視点に基づいて、コミュニケーションを創造的かつ機能的にデザインすることを続けるための「計画を伴った枠組み」である。ひとりひとりがコミュニケーションしたいというのは人間の基本的欲求であり、また権利でもある。他方、それらのコミュニケーションを束ねたり、交通整理し、そしてデザインするには、チームメンバーの協力の精神と協働が不可欠となる。したがって、自由にコミュニケーションする様式や活動を統制・制御することはストレスを生む。しかしながら、スキーム (3つの視点) を見える化しながら機能的なチーム・コミュニケーションをデザインすることは、チームにとってストレス以上の成功体験となる。メンバーがセルフマネジメント能力を発揮して自分・他者を相互理解させることは、チームへのコミットメントを高め、機能的なチームの形成と活性化につながる。

機能しているチームの特徴は、1) ゴールが困難でも目的をメンバーが理解していて、そこへ向かう過程を楽しんでいること。2) ゴールを達成することで得られる報酬 (給与や地位の向上) 以上にチームで活動すること自体から得られる刺激ややりがい、達成感を求めていること。3) 失敗しないことではなく達成すべきゴール」に焦点を当てていること。4) 仲間の間での意見の衝突を恐れないこと。5) 意見をぶつけ合うことから新しい価値が生まれることを重要視していること。6) それぞれが責任を果たすことに誇りを持っていること。7) お互いの長所を認め合い、敬意を持って接していること。8) 誰もが集団のために自己犠牲をする必要がないこと。9) 誰かが犠牲となってゴールを達成することは美徳ではないと知っていること、等であると言われている。

参考資料

- 1) <https://ja.wikipedia.org/wiki/コミュニケーション>
- 2) https://en.wikipedia.org/wiki/Team_building

(国立病院機構宮城病院 八巻孝之)

本誌195pに記載